

グッドライフアワード2015における環境大臣賞の最優秀賞候補の取組(10件) (別添)

市町村と企業の協働による「ウッドスタート」

【概要】暮らしに木を取り入れる木の地産地消の促進「ウッドスタート宣言」をした市町村と企業に、誕生祝品等の地産地消の促進、保育園等の内装木質化等のプロジェクトを推進

(実施主体：認定NPO法人日本グッド・トイ委員会 場所：全国)



クロマツお助け隊! 東北に白砂青松をもう一度「海岸林再生プロジェクト10カ年計画」

【概要】宮城県名取市の住民たちとともに、東日本大震災で被害を受けた100haの海岸林を再生させるべく、被災地住民の雇用創出も行いつつ、クロマツを種から育て、海岸に植栽

(実施主体：公益財団法人オイスカ 場所：宮城県)



森と命を繋ぐ歩道橋「アニマルパスウェイ」の開発と普及

【概要】道路・鉄道等の連続する構造物による森の分断の影響で遺伝子の劣化やロードキル等に困っている多くの動物のための歩道橋「アニマルパスウェイ」を開発し、全国に普及

(実施主体：アニマルパスウェイ研究会 場所：山梨県)



英田上山棚田再生プロジェクト

【概要】過疎高齢化で荒廃していた岡山県美作市の棚田を地元・都市住民による草刈りと野焼きで再生するなどして、地域の担い手を確保し、農業振興やコミュニティ再生等を図ることにより、地域の活性化に取り組む

(実施主体：NPO法人 英田上山棚田団 場所：岡山県)



エコマジシャン ミヤモ

【概要】プロマジシャンが、複雑で難解な環境エコ問題を小・中・高・大学生やビジネスマン等の様々な年齢層にマジックを利用して、分かりやすく楽しく伝えていく「マジックを通じた環境教育」を実施

(実施主体：エコマジシャン ミヤモ 場所：東京都)



SATURN project

【概要】アパレルメーカーが、障がい者の自立支援と産廃の有効活用の両立を目指し、洋服の製造工程で発生した生地端切れを利用して、障がい者がデザインした商品の企画・販売や美術館・ギャラリーでの展示等を実施

(実施主体：森田屋 場所：茨城県)



キッチンから資源節約が見える化「ローフード」

【概要】食材のライフサイクルにおけるCO₂・水消費量(フットプリント)を削減できるよう、フットプリントの見える化や、環境負荷の低い食材を使ったクッキング講座を実施

(実施主体：一般社団法人スマート・ウィメンズ・コミュニティ 場所：神奈川県)



絶滅危惧種をすくう社会の仕組み：絶滅魚カワバタモロコ再生プロジェクト

【概要】絶滅危惧種である小型淡水魚「カワバタモロコ」を守るため、徳島県内の産学官民が連携し、教育・研究活動等にも利用しながら繁殖させ、生息地に戻すプロジェクト

(実施主体：カワバタモロコ増殖・放流連絡会議 場所：徳島県)



天然山菜採り代行サービス～山のめぐみを、おすそ分けっ!～

【概要】山をよく知る「山の名人」のおじいちゃんやおばあちゃんが、天然山菜を求める人々に代わって、希望の山菜を探し、採ってくるという山菜採り代行サービスを実施

(実施主体：あきた森の宅配便 場所：秋田県)



「希望の綿」ふくしまオーガニックコットンプロジェクト

【概要】福島第一原子力発電所事故による風評被害・後継者不足等により営農が難しくなった福島県いわき市の畑を借り、援農ボランティアと協働して、環境に配慮した方法でコットンを栽培し、タオルハンカチ等を製作

(実施主体：特定非営利活動法人 ザ・ピープル 場所：福島県)

